

受験番号	
------	--

令和3（2021）年度横浜国立大学大学院国際社会科学府

博士課程前期 国際経済法学専攻

入学試験（第2次募集）（筆記試験）問題

# 英語



次頁以降に掲げるのは、2013年に米国 Foreign Affairs 誌に掲載された記事の冒頭部分である。(2頁から6頁に掲載されている英文はすべて同じものである。)

これを読んで第1問から第5問のすべてに答えなさい。

その際、答案用紙に第何問に対する解答であることを明記すること。また、第2問から第5問は、そこに示されている番号で解答すること。

配点は、第1問が60点、第2問から第5問は各10点である。

問題文出典：Pierre N. Leval, (都合によりタイトルは省略) *Foreign Affairs*, March/April 2013, Vol. 92, No. 2, pp. 16-17.

英語問題は、著作権保護のため公開いたしません。

英語問題は、著作権保護のため公開いたしません。

**[第1問]**

この文章を日本語又は英語で要約しなさい。(日本語の場合は200字程度、英語の場合は100語程度)(60点)

英語問題は、著作権保護のため公開いたしません。

英語問題は、著作権保護のため公開いたしません。

**〔第2問〕**

この文章の表題として最もふさわしいものはどれか。（10点）

- ①The Nuremberg Trials
- ②The Alien Tort Statute
- ③The Long Arm of International Law
- ④The Supreme Court of the United States

英語問題は、著作権保護のため公開いたしません。

英語問題は、著作権保護のため公開いたしません。

**[第3問]**

この文章によれば、下線部（ア）の理由は何か。（10点）

- ①国際法の規律内容が不明確だから。
- ②国際犯罪を裁くべき国際法廷が管轄権を有しないから。
- ③加害者側が依然として権力の座にある場合には、国際法廷への引渡しができないから。
- ④加害者側の国内法廷で十分対処が可能だから。

英語問題は、著作権保護のため公開いたしません。

英語問題は、著作権保護のため公開いたしません。

[第4問]

下線部(イ)について、米国最高裁判所がこのような判断をすることができる根拠として最もふさわしいものはどれか。(10点)

- ①米国が連邦制をとっているから。
- ②米国最高裁判所には違憲立法審査権があるから。
- ③特別法により米国最高裁判所にそのような権限が付与されているから。
- ④米国は英米法系の国であり、裁判所は原則として先例に拘束されるが、先例を変更すべき重大な理由がある場合には先例を変更する権限があるとされているから。

英語問題は、著作権保護のため公開いたしません。

英語問題は、著作権保護のため公開いたしません。

**[第5問]**

下線部（ウ）はどのような意味か。最もふさわしいものを選んで番号で答えなさい。（10点）

- ①米国以外の国で類似の法制が作られることが期待できる。
- ②人権侵害者を入国できなくする。
- ③将来的な人権弾圧の可能性を抑止できる。
- ④麻薬常習者の入国を阻止できる。





